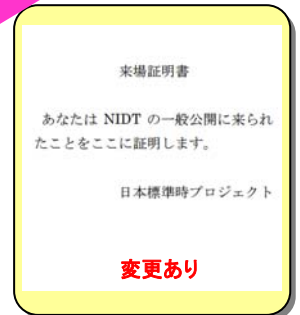
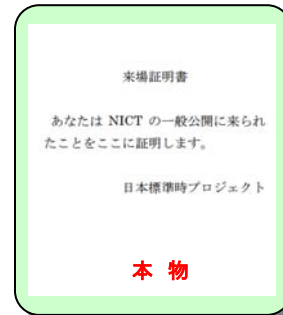


コンピューターに記録した文書は紙に書いた物とは異なり、複製(同じものを作る)が簡単だから、どれが本物か分からないよね。それから、コンピューターの時刻は簡単に変更できるから、いつからその文書があるかも分からない。

そこで、コンピューターに記録した文書がいつから存在し、その後変更がされたかどうかを確かめる道具が「**タイムスタンプ**」なんだ。

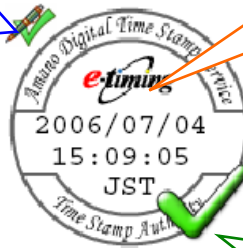
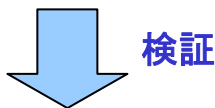
どっちが本物？



試してみようタイムスタンプ —実際のタイムスタンプの例—

それでは、「**タイムスタンプ**」の実際の例を見てみよう。

文書が**タイムスタンプ**を受けた後に変更があったかどうかを検証する。
変更があった場合、下のようになる。



コンピューターの内部時刻ではなく、NICTで維持している日本標準時(JST)と同期した時刻が使われている。

タイムスタンプを受けた後に変更があればすぐに分かる。
変更があると、右のようになる。



・検証結果



検証結果 変更なし



検証結果 変更あり

タイムスタンプの検証を行うと、タイムスタンプのデータ(タイムスタンプトークン;文章のデータと時刻データ等)から検証を行った文書に変更があったかどうかを確認できる。

「**タイムスタンプ**」がどういうものか分かったところで、
実際に**タイムスタンプ**を試してみよう！